

令和4年度 第3回学校運営協議会

2023年2月10日（金）

農業大学校校長 根来様 美原区区长 山田様 同窓会会長 田中様
PTA会長 古後様

本校より：校長、教頭、喜多村首席、稲葉保健部長、山下進路部長、葉山（A科）、片岡（P科）、中村（Z科）、井上

1. 学校長挨拶
2. 協議

①学校教育自己診断結果について

校長：12月に実施した。回答数が少なかったが、集計した時点での数となっている。最終的にはもう少し多い回答を得られている。

（生徒のアンケート結果）について。生徒の満足度は高く、91.6%となっている。また、保健指導について91.1%、人権学習について93%が肯定的な意見である。一人一台端末の効果的な活用について92%と肯定的な意見が多い。本校は先進的な取組みを行っている。リーディングギガハイスクールについて府内10校に選ばれている。逆に低評価なところは生徒会活動である。放課後実習があるため、生徒会クラブ活動が活発的に活動しにくい環境となっている。他校や地域との交流についても低評価となっている。参加者の数も減少傾向にあり、コロナの影響も考えられる。

（保護者のアンケート結果）について。全般的な満足度でいうと90%と肯定的な回答が多かった。人権については91%、保健指導について、情報提供についても90%近い肯定的な回答が多かった。逆に生徒会活動については76%の満足度で、生徒と同様の低評価となった。設備については、古い機械のままで使用しているところもあり、肯定的な回答は少なくなっている。少しずつ改善はしている。

（教員アンケート結果）について。保健指導についての満足度が高かった。学習に関する設問に対する回答は90%の肯定的な回答と評価が高かった。その他、教育相談の項目についても高めであった。逆に低評価であったのは、指導体制についてで57%であった。研修についての項目も低く設備に関する項目も低評価である。働き方改革を実施していかなければならない。

委員C：生徒も保護者も教員も設備面において評価が低くなっている。古い学校なので、設備も古くなってきている。新しいものが入ってくると全員が改善してほしいところを考えて購入等を検討してほしい。改善されないと満足度はあがらないと思う。

校長： 学校については、順番があるため難しい。今の設備を改修することが難しい。水禽舎等については、議員の働きかけがあったため実現したものである。食品加工場の改修をしたいが、なかなか難しい。要望は出し続けている。

委員B： 生徒の問題行動に対して組織的に動けていないと感じている教員があるがどう考えているか。

校長： 組織的な体制としては情報共有等、教員の動き方がそれぞれ異なっている現状がある。また教員の意識の問題がある。同じ方向を向いて仕事に取り組めるよう来年度より改革していきたい。

委員B： 働き方改革もしてほしい。とくに先生方が働きやすい環境づくりをしていていただきたい。それが生徒の安心感にもつながると思う。

委員D： 学校じたい古くなっているの、生徒たちが安心して過ごせているかが心配である。安全点検等はやっているのか。

校長： 安全点検は月に1度実施している。事務とも連携し、改修に努めているが、すべて改修できているとはいえない。廊下等の改修には時間とお金がかかってしまうため、すぐ対応はできないのが現状。中棟の中庭の階段の壁が剥がれ落ちたことがある。生徒たちが通らなかったため、よかったが、現在も使用しないようにしている。

委員D： 廊下に傷をつけて凹凸をつけて、すべらないようにするなど、お金のかからない形で対応できるところからしてほしい。けがをし、安全面が損なわれるようなことがないように願いたい。

委員A： 生徒の自己診断の学習面について。生徒が自ら学ぶ態度や意欲、行動する力を身につけることができているという項目について、生徒の肯定的な回答が多い。どのような取り組みからこういった結果がでたのか、考察でかまわないので教えてほしい。

教員： 各専攻に分かれ、プロジェクト学習を行っている。自分の興味のあるところを深めていくので、意欲的な態度で自発的に行動ができているのではないかと。意欲的な生徒については、大会に向けて努力している。

②学校経営計画及び学校評価について

校長： 今年度の数値目標に対し、結果が記載されている。確かな学力の育成と進路保障について。予習復習ができているという項目については達成された。卒業時の進路決定については、就職内定率は100%であった。進学についても功績を収めている。農業クラブ全国大会には惜しくもいけなかったが、近畿大会では優秀賞を3部門でもらうことができた。アグリマイスター認定者10人以上をめざしたが、今年度12人が認定された。遅刻者数については、今年度は昨年度よりも増加傾向となった。遅刻指導は行っているが、効果を感じていないため、次年度に向けて調整中である。教育相談について校内研修を3度行うことができた。学校運営面においては、クラウドサービス等を効果的に活用する点において今年はペーパーレス化ができた。出席簿の電子化も行った。ホームページについては、昨年度に引き続き、賞を受賞した。次年度の学校経営計画については、長時間労働

働について特に力を入れていかなければならない。リーディングギガハイスクールについては次年度取り組んでいくため、そちらも盛り込んだ。

委員B：美原区としても農芸高校は魅力の一つとさせてもらっている。美原区の広報として『ぴあっと』ハッシュタグ美原の魅力で発信してほしい。府庁の広報も担当しているので、農芸高校の景色やふれあい動物園の写真をあげさせてもらった。その時の反響が大きいので、ぜひ知ってほしい情報があれば言ってくれたら、対応させてもらう。行政連携コーナーをららぽーとにつくってもらった。寄付してもらった本を並べたりしている。農芸高校のなにかがあればそれも一緒に考えて発信していけるので、一緒に美原区を盛り上げていきたい。

③今年度の農芸高校の取り組みについて

A科：生徒はよくがんばっている。農業技術検定を受験しており、95%以上の合格率となっており、農芸高校は優秀校として選ばれている。2級についてもよくがんばっている。検定に合格していると入学料免除になる学校等がある。

P科：コロナ禍で入学してきた生徒の卒業が決定した。現在生徒たちはプロジェクト発表などに取り組み、充実した生活を送っている。

Z科：休校がなく1年を過ごすことができた。教育活動をとめることがなかったので、生徒の活動も満足の行くものであったと思う。『高校生レストラン』の実施、テレビで取り上げられるなど生徒にとってみのある一年だったと思う。

教務：出席簿の電子入力を行った。生徒の欠時数の訂正が多かったが、その件数が大幅に減少した。一人一台端末については、90%を超える活用が行われているが、逆に課題等で生徒の負担になっているという問題点がある。対応策を検討している。リーディングギガハイスクールもアドバンス10校に選ばれたので、HR教室に電子黒板がつく。現状よりも大きく、どこの席からも見やすくなる。さらなる効果的な活用を検討していきたい。

保健：スクールカウンセリングについて、今年度は相談依頼が多くなった。カウンセリングを受ける中で、欠席数が減るなど改善が見られた生徒もいた。今後も生徒や保護者にスクールカウンセリングを活用してもらいたい。

委員D：スクールカウンセリングの学年のや時期の偏りはありますか。

保健：一年生が学校生活についての不安が多く、回数も多い。入学時にカウンセリング希望をきいているので、一年生が多い。一学期に多いが、継続的にカウンセリングを希望する生徒もいるので、そういった生徒は複数回行っている。必要があれば保護者に情報を共有する場合があるが、生徒が他に伝えたくないと申し出る場合は、SCと本人との間で共有をとどめている。3年生は安定してくるので少ない。

総務：今年度、報道関係に取り上げてもらうことが大変多かった。生徒にとってもよい経験であった。

最後に

委員A：農芸高校の苦労や内情がわかった。技術系の学校としてのよさがある。外部の方々との交流があることが、人間形成をはかっていけるため、農芸高校の魅力の一つとなっている。

委員B：今まで知らなかった農芸高校のことを知れた。アンケートをもとに、振り返りや対策をたてられていてすごいと思った。少子化の中で学校を続けていくことはとても大変で、その中で魅力を発信する姿が大切なので、ぜひ美原区との連携していきたい。

委員C：美原区との連携が大切である。農芸高校の魅力をさらに発信して行ってほしい。コロナによる活動制限もなくなっていくのでぜひ外部との連携や活動を復活してほしい。

委員D：生徒や保護者のニーズに合った対応をしていく努力をしてきた。先生方ともっとコミュニケーションをとっていればよかったと思う。今まではPTAとして自由にしてきたが、先生方がPTAに求めるものが知れば、より良い活動ができると思った。一年限りではなく、継続して実施していきたい。保護者にPTA活動を知ってもらったり、情報発信になってほしいと思ってHPのアップをがんばってきたが、今後の活動のためにも意見をいただければと思う。保護者の研修を3回実施できた、先生方の協力があったこそなので、これからも協力してやっていければと思う。

校長より謝辞